



渡辺和子先生との思い出

元教頭 鳥 越 修

ノートルダム清心女子大学附属小学校が創立されて本年度で50周年を迎えますが、先ずもってお目出度いことであります。

さて、創立の頃を思い出そうにも往時茫々、記憶が薄れてしまっていて、はっきりとした具体例はどこへやら、感想としましては30周年記念誌に書いておいた通り、とにかく毎日を全力を出し切って駆けて来た感じです。

校長様を中心に県下で初めての私立の小学校、何としても立派に学校を創り上げなければならないと、児童は勿論のこと、教師、保護者一丸となって取り組みました。

校長様のお仕事の本務は大学でありますので、小学校へは曜日と時間を決めてお出になりました。学校に来られました折には学

校創りへのお話は勿論のこと、いろいろとお話を伺いました。それらのお話の片鱗はご著書の中のあちこちから散見することが出来ます。

当時出来ることは何でも自分達の手でということでありました。体育で必要な砂場を教職員の手で作ることになりました。運動場の北側、指定された場所へ、確か3m×7m×0.9mの大きさだったと思います。大学から借りた用具はツルハシ1丁、スコップ2丁、平鍬2丁程度で、放課後硬い運動場を一掘り一掘り何日も掛かって掘り上げ、大学より廃材をもらって枠組みをし、土の撤去と砂の運び込みだけは業者に依頼しました。毎日の様に日没まで作業をしましたので、校長様が折を見てご自分で皆にお茶を運んで来て下さいました。



お元気ですか

元教頭 嶽 惣 爾

同窓会誌50周年記念誌の発行お目出度うございます。

同窓会誌を拝読するにつけ、関係する記事のことが、昨日のことのように思い出されます。そして、新しい情報（発展など）には感動と驚きです。

学校教育目標「心を清くし、愛の人であれ」と3つのモットーをどう育成するか、基礎学力の充実に、必死でした。私の指導力や力不足のため、児童のみなさんには、大変な苦勞と迷惑をかけたことを今も反省しています。最近9期生の同窓会があり、あつかましくも、なつかしく参加しました。

附小での思い出は、苦もあり楽しくもありますが、同窓会誌の創刊号に一部投稿していますので省略します。

現在の生活は、畑を借りて家庭菜園を楽しんでいます、草の勢いには負けます。また、町内や他団体から要望されると「私に出来ることなら」とまわりの人や業にも助けられ、安請け合いをしています。最近、頭と体がついていけないことを痛感しています。

最後になりましたが、同窓生みなさんのご健康と、同窓会の益々のご発展をお祈りいたします。



清心小学校 五十周年 おめでとうございます

旧職員 坂 田 照 子

昭和の頃十一年間勤めさせてもらいました。現在九十四才になりましたが、お蔭様で無事送りしております。私の人生に取りまして清心小学校は、とても楽しくなつかしく思っています。

宿泊学習で少年自然の家へ、一年生と何度か行きました。初めての外泊で仲々眠れず泣いていた子も今はおばあちゃんになって孫をあやしているのだらうと、なつかしく思ったりします。

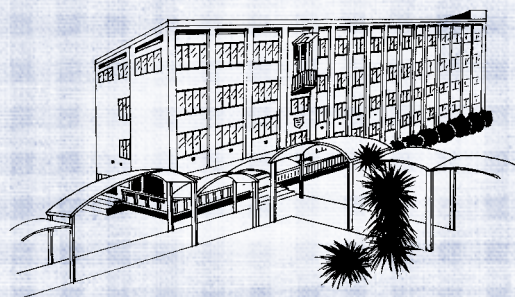
ある日六年生がタイムカプセルだと言って自分達の色々な思い出となる品をビニールの大きなケースに入れ校舎の北側の木の根近くに一緒に穴を掘りうめました。

その後校舎の改築でどんなになったか知りませんが、ケースに入れた記念の品々そして入れた皆さんの事を思い出します。

運動公園の近くを通る度、マラソン大会をしたり、写生会に来たりしたとなつかしく思います。

今までの人生で一番楽しい日々であった事、とてもなつかしく思っています。

清心小学校の益々の発展をお祈りします。



20周年当時の思い出

旧職員 船 田 耕 三

50周年、誠におめでとうございます。私がお世話になったのは、ちょうど30年前、創立20周年を迎えた頃の3年間でした。

20周年記念誌の編集に携わらせていただいたり、記念運動会として「20周年記念ブロード」 という新しい種目を考え、児童と一緒に練習したり、多くの思い出があります。中でも、新しい総合遊具が完成し、みんなで手紙つきの風船を飛ばしたことが、遠くから返事が来て感激したことは、強く印象に残っています。

3年間での一番の思い出は、やはり子ども達です。担任の経験がなく、迷うことの多かった私にとって、救いは子ども達でし

た。子ども達の笑顔や言葉に元気をもらったり、いろいろ教えてもらったり、子ども達にはとても感謝しています。特に3年目は、人数が少なかったこともあり、1クラスとなった学年を担当させてもらいました。担任する数が一気に倍となり、大変だった部分もありましたが、明るく元気な子ども達のおかげで、楽しく充実した毎日を過ごすことができました。

あれから30年、随分様変わりした部分もあると思いますが、昔も今も、子ども達が活躍し、子ども達の笑顔が溢れる小学校であり続けてくださることを心から願っています。



30周年当時の思い出

旧職員 松浦 真弓

創立五十周年を迎え、心よりお祝い申し上げます。卒業生の皆様、そして保護者の皆様、懐かしうご挨拶申し上げます。三十周年の人文字を運動会で描いた時、同僚の先生方と「次の五十周年はもう私たちはいないねえ。」と、少々寂しく感じながらお話したこと、もうその時を迎えたのだと改めて感慨深く思います。巣立っていったたくさん子どもたちを思い浮かべるたびに、本当に素敵な子どもたちだったと思っています。子どもたちからたくさんの優しさと笑顔と元気をいただいたことばかり。感謝、感謝の気持ちで一杯です。「愛いっぱい」が学級目標でした。今、皆様はそれぞれで、頑張っておられるのでしょうか。私は、連絡帳を見るのが楽しみでした。毎朝、一人ひとり子どもたちの文字を見ながら、今日の調子はどうかなと。中には私へのお手紙も。素敵な絵入りのものや松ちゃん似顔絵も毎年誰かが作ってくれました。修学旅行やスキー教室、運動会などの特別な行事だけでなく、日々の授業もとても思い出となっています。卒業生の中には、訪ねてくると、私の授業の真似をして笑わせてくれます。「一人ひとりをご大切に」…昨年12月末にお亡くなりになったシスター渡邊和子前理事長様が教えてくださったお言葉です。現在、私は、玉野カトリック教会で教会学校を、そして広島教区(岡山鳥取地区・広島地区・山口島根地区)の小学校五年生から高校三年生までの子どもたちと予備神学校という名称で神様のお勉強をしています。神様の子どもたち、一人ひとりをご大切に、これからも頑張ります。清心小学校の益々のご発展と卒業生と保護者の皆様に神様の愛と慈しみが豊かに注がれますように、日々心よりお祈りしております。



「清心小学校 創立五十周年に寄せて ～清心っ子という アイデンティティー」

5期生 竹本(楨枝) 聡美

清心小学校創立五十周年を迎えられ、心からお慶び申し上げます。しみじみと年月の早さを感じると共に、清心小学校で学ばせていただいた感謝の気持ちを込めて、ペンを執りました。

私は弟の入学と同時に、四年生の時に転校して参りました。担任の熊代先生が、特別に、お御堂に案内して下さったことを今でも鮮明に憶えています。神聖かつ厳かで静寂に包まれた中、私たちは神様に守られているのだということをその時教わりました。私は在学中も、卒業後も、今もずっと、神様に守られている安堵感がベースにあります。困難な時も何とかなるのではないかなと思えることが、今になってありがたく思います。ストレス社会といわれる昨今、心の健康のキーワードは「レジリエンス(逆境力)」といわれています。偉大な大きな力に守られているという安心感も、これに影響するとのことでした。

また、他にレジリエンスに作用することとして「自尊心感情」が挙げられるそうです。先日惜しまれながら天国に召された渡辺前理事長様の「お大切に」というお言葉どおり、児童一人ひとりを大切に育て導いてくださる清心小学校の校風こそ、「自尊心感情」につながっていると信じてやみません。

私はこれから先の人生を、清心っ子というアイデンティティーを忘れず、意識しながら心豊かに歩んでいきたいと思っています。

最後に、清心小学校の更なるご発展と、皆様方の益々のご健勝、ご活躍を心よりお祈り致します。



英語教員として

旧職員 服部(玉谷) 美香

Happy Golden Jubilee Anniversary to Notre Dame Seishin Elementary School!!

I thank God for all His grace and that He has kept this school in His Hands all these years.

私は清心女子大学を卒業してすぐに、附属小学校の英語教員として5年間勤務しました。お世話になった諸先生方、当時の子ども達や保護者の皆様のお顔が本当に懐かしう思い出されます。授業も行事も楽しい思い出がいっぱいです。今立派なお父さんやお母さんになられて、今度はお子さん方を清心小に來させて下さっているとのこと。これほどの再会の喜びはありません。

今から10年前には久々に清心小学校に戻り、国際コースで5年間、非常勤で勤務するお恵みをいただきました。

私ごとで恐縮ですが、当時職員室で隣の席にいた服部と家庭を持ち、2人の子どもたちはおかげさまで早や成人しました。彼らが小さいとき、「父さんは家の電話番号のところに間違えて清心小のを書いてた」とよく話題にしておりました。

現在、岡山大学では17年目、放送大学では10年、2年前からはSkypeで国内外の日本人に個人レッスンをする仕事にも関わっています。英語の楽しさを子どもからお年寄りまで多くの方に伝えたいという夢がかない、たくさんの出会いに日々感謝しています。

大好きな清心小学校の益々のご発展と、今の小学校を支えておられる先生方、児童の皆さん、そして保護者の皆様のご健康とご多幸をいつもお祈りしております。



「小学校の思い出」

9期生 佐久間(藤井) 由紀枝

母が、美容院を営んでいる所から近いという事もあり、通学する事になりました。当時は当たり前のように思っていたが、卒業して大人になり、仕事をして結婚、出産、子育てと経験していく上で小学校では随分沢山の事を学ばせて頂いたのだと感じました。やはり印象深い事は、スキー教室、蒜山登山、大山登山、夏休みには大学から先生がいらっしゃる、プール教室がありました。又、テーブルマナー講座など記憶に残っています。以前の校舎の玄関には、マリア像が置いてありみんな御辞儀をしてから教室に入っていました。この頃から目上の方を尊敬するという事を学んだのではないかと思います。公立の小学校では学べない事が沢山あり、このような環境を提供して下さいました先生方には大変感謝しております。有難うございました。

